

札幌市 障がい福祉計画 (第6期)

札幌市 障がい児福祉計画 (第2期)

成果目標一覧 (案)

1 障がい福祉サービス等に関する目標

項目	目標値	目標設定の考え方
<p>入所施設の入所者の地域生活への移行</p>	<p>2020年3月31日の施設入所者2,009人のうち、2023年度末において <u>60人（約3%）</u> の人が地域生活に移行することを目指します。</p>	<p>2016～2018年度の平均増加率から推計。</p>
	<p>2020年3月31日の時点で、福祉施設に入所している障がいのある方のうち、2024年3月31日までに <u>110人（約5.5% 減少）</u> することを目指します。</p>	<p>2017～2019年度の平均減少率から推計。</p>
<p>地域生活支援拠点等の整備及び機能の充実</p>	<p>2023年度末までの間、1か所以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、その機能の充実のため、年1回以上運用状況を検証、検討することを目指します。</p>	<p>国の基本指針どおり。</p>
<p>福祉施設から一般就労への移行</p>	<p>2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を2019年度の移行実績の <u>1.12倍（564人）</u> とすることを目指します。就労移行支援事業は2019年度の移行実績の <u>1.05倍（341人）</u>、就労継続支援A型は <u>1.10倍（95人）</u>、就労継続支援B型は <u>1.36倍（128人）</u> とすることを目指します。</p>	<p>2016～2018年度の年平均就労移行率をサービス利用者数に乗じて推計。 ※ 波線部は2019年度実績（北海道調べ）集計後に更新予定。</p>

<small>こうもく</small> 項目	<small>もくひょうち</small> 目標値	<small>もくひょうせってい かんが かつ</small> 目標設定の考え方
<small>ふくししせつ いっぱんしゅうろう</small> 福祉施設から一般就労への移行	<small>ねんど しゅうろういこうしえんじぎょうしょうとう つう いっぱん</small> 2023年度における就労移行支援事業所等を通じて一般 <small>しゅうろう いこう かつ わり しゅうろうていちゃくしえんじぎょう り</small> 就労に移行する方のうち、7割が就労定着支援事業を利 <small>よう</small> 用することをめざします。	<small>くに きほんししん</small> 国の基本指針どおり。
<small>いりょうてきけ あ ひつよう</small> 医療的ケアを必要とする障がいのある子どもへの支援	<small>ねんどまつ</small> 2023年度末までに、医療的ケア児等に関するコーデ <small>い</small> ィネット機能の構築をめざします。	<small>さつぼろし しゃかいしげん</small> 札幌市における社会資源 <small>じょうきょうとう</small> の状況等をふまえながら、 <small>もくひょうたっせい めざ</small> 目標達成をめざします。
<small>しょう ふくしきーびすとう</small> 障がい福祉サービス等の質の向上を図るための取組の推進	<small>ねんどまつ</small> 2023年度末までに、障がい福祉サービス等の質の向上 <small>しょう ふくしきーびすとう しつ こうじょう</small> を図るための取組を推進します。	<small>げんこう とりくみ あら とりくみ</small> 現行の取組に新たな取組 <small>つか すいしん</small> を追加し推進していきます。

2 札幌市が独自に設定する目標

項目	札幌市の目標値	札幌市の目標設定の考え方
障がいのある人に対する	障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある方の割合が2023年度末において60%となることを目指します。	現行プランからの継続
理解促進	障がいのある子どもにとって地域で暮らしやすいまちであると思う保護者の割合が2023年度末において60%となることを目指します。	現行プランからの継続